

企業を伸ばす 地域を活かす2

〈千代田区編〉

15

長期的視野に立ち「今何をすべきか」を見据えた成長支援がモットー

東京都千代田区は政治・行政の中枢である永田町や霞ヶ関を有する日本の中心地。東京23区内で東証一部上場企業が最も多い地域でもあります。

中小企業は秋葉原や神田、半蔵門などに多く、秋葉原には電子部品や化学・理化学機器メーカーや卸業者、駿河台には書店が集積しています。当社の投資先企業には、オフィス用品メーカーのキングジム(千代田区東神田)、ホテル・レストラン業を手がける龍名館(千代田区神田駿河台)、高精度な測定機器等のメーカーである小坂研究所(千代田区外神田)などがあります。

最近では、ある投資先企業から「人手不足で人材の確保が難しくなっているので、生産現場を省人化したい」という相談を受け、千代田区内で設計・技術者派

遣のほか工程の合理化などの提案を行っている企業を紹介するなど、ビジネスマッチングに取り組んでいます。

また、子供や親族以外の役員や社員に経営を引き継ぐ非同族継承のお手伝いをさせていただくことも多くあります。当社では次世代を牽引する若手幹部候補生を対象に、年10回、1泊2日で勉強する「次世代経営者ビジネススクール」を開催しており、多くの企業から経営幹部の育成に利用いただいています。

同族で経営承継を行う場合でも、息子さんではなく、娘さんが経営を承継するケースも珍しくなくなっています。そこで、似たような境遇にある女性経営者たちの勉強会である「女性経営者の会」を立ち上げたこともあります。

また、若手後継者が集まる「若手経営

者の会」にも、親子二代にわたって参加していただく企業も見られるようになりました。

これも当社が、投資先企業の長期安定株主として長いお付き合いを続けてきたことの蓄積です。その意味で私は、中長期的にいかに発展していただくかという目線での支援を信条にしています。

実際、当社には、数十年にわたり安定株主として投資を行っているお客様が少なくありません。

そのため、短期的な業績だけを見るのではなく、長期的な市場や経済のトレンドの中で、たとえば「御社の商品のライフサイクルがこうなっているので、そろそろ次の手を打つべきではないですか」という、将来を見据えた成長支援を行っていきたいです。



東京中小企業投資育成 業務第1部
次長・チームリーダー

宇野充良さん(45歳)

1972年7月東京都生まれ
1995年3月中央大学商学部卒業
1995年4月東京中小企業投資育成に入社
総務部総務課に配属
1996年4月業務第2部に配属
2000年4月東北支店に配属
2004年4月業務第2部に配属
2012年4月営業統括部に配属
2016年4月業務第1部(東京都千代田区担当)に配属され、現在に至る